

マクロ経済学B
復習と練習問題
来週の小テスト準備

2019年12月3日

第4～8回

中央銀行が貨幣の量を操作する

- 中央銀行の政策手段
 1. 預金準備率
 2. 公定歩合
 3. 公開市場操作
- 小テスト問題：中央銀行が貨幣の量を操作する政策手段を3つかけ。
- 小テスト問題：中央銀行が貨幣量をふやそうとする。預金準備率はどうすればよいか。公定歩合をどうすればよいか。公開市場操作によりなにをすればよいか。

中央銀行の行う景気対策

- 景気が悪いときは、総需要が不足している。
- 総需要を増やすために、金融緩和を行う。
- 金融緩和とは、貨幣の量を増やすことで、金利を引き下げ、融資を増やすこと。
- 金利が下がると、設備投資、住宅投資、輸出が増える。
- 小テスト問題：金融緩和とは、何を増やすことか。それによって、金利はどうなるか。

金融緩和は具体的に何をするか

- 貨幣の量が増えると、貨幣量 $>$ 貨幣需要となる。民間の経済主体は、手持ちの貨幣量を減らそうとして、債券市場で債券を買いにかかる。これにより、債券価格が上がる。これは、金利がさがるのと同じことである。
- 小テスト問題：金融緩和は、なにをすることか。
- 小テスト問題：金融緩和をすれば、貨幣需要に対して、貨幣の量はどうなるか。
- 小テスト問題：金融緩和により、債券市場では何か起きるか。

デフレによる不況

- デフレによる不況とは、インフレ率がマイナスで、実質的な金利が高くなることで生じる。
- 実質的な金利が、設備投資や住宅投資を決定する。これが高いと、総需要が低くなり、不況となる。
- デフレの状態では、名目金利を下げてても限度がある。
- 小テスト問題：デフレによる不況を説明せよ。